

株式会社 松屋 2024年9月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	1.0	4.2
② 銀座店	2.4	5.9
③ 浅草店	-19.0	1.4

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
銀座本店	28.6	21.1	19.2	24.1	35.6	35.0	31.5	40.8	31.6	36.9	15.9	1.0
松屋銀座	31.5	24.9	18.8	22.3	36.3	28.6	31.6	43.6	35.2	38.5	16.0	2.4
松屋浅草	-15.0	-21.7	24.2	53.4	23.3	118.0	30.8	-8.4	-15.8	4.1	12.4	-19.0

3. 店舗別商況

銀座店	<p>9月の銀座店は、前年に対して2.4%増となりました(前年に大口受注があった浅草店を含めた「銀座本店」では、前年比1.0%増)。商品別では、化粧品が前年比約33%増、ラグジュアリーブランドは同約11%増、宝飾は同約20%増になる等、銀座店の強みとなるカテゴリーは好調に推移いたしました。一方、免税売上高につきましては、為替が円高基調で推移するも前年比約34%増となる等、引き続き、全館を牽引しております(免税売上高が銀座店全体に占める割合は約41%。その割合は、前月対比で約10ポイント強低下したものの、堅調な売上高を確保)。</p> <p>今後は、10月初旬からの国慶節で来日される中国からのお客様の増大等も予想され、化粧品等を皮切りとした百貨店の強みを生かした様々な商品の買い回りが進むことが想定されます(なお、連日の厳しい暑さに加え週末における台風の余波・影響等の諸条件を受け、免税売上高を除く国内のお客様の売上高は、前年比約12%減となりました)。</p>
-----	--

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	1.0	7.1
婦人服・洋品	3.3	3.9
子供服・洋品	28.3	28.3
呉服寝具他	-12.5	-10.0
衣料品計	4.0	4.7
身廻り品	13.5	13.6
雑貨	4.0	12.5
家具	16.3	17.7
家電	-8.7	-8.7
家庭用品	-11.8	-11.6
家庭用品計	-0.6	0.0
食料品	2.5	3.7
食堂・喫茶	4.8	4.7
サービス、その他	-65.9	-67.0
合計	1.0	2.4

【足元の商況】

・国慶節について *10/1(火)から7(月)までの速報

中国からのお客様の売上高は、前年に対して約2.1倍、客数も同様の伸びを示しています。
 買上されている商品については、次月の売上速報にて開示いたします。

※「2024年10月上速報」は、11/1(金)16時の開示を予定しています。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課

Mobile 070-4547-7555